第5回 テキストの挿入と新しい要素の追加

今回の演習の目的は次の通りである。

- SVG 要素内にテキストを表示する
- SVG 要素を追加して DOM ツリーの変化を確認する
- setTimeout 関数を用いてアニメーションを作成する。
- JavaSCript の配列とオブジェクトの使い方
- 要素を追加したりする簡単な自前のライブラリーの作成と使い方

課題に(必須)と書かれたものを最低行うこと。それ以外の課題はいくつか選択してよい。

課題 1 (SVG にテキストの追加) 演習のビデオ1を見て次の問いに答えよ。

- 1. (**必須**)「クリックした位置を SVG 内に表示」を実行する。位置を表示する text 要素に空白を入れておかないとエラーが発生することを確認する。
- 2. (**必須)** クリックイベントが発生している要素は何か答えよ。 要素名:

理由:

- 3. 28 行目にある rect を 23 行目にある circle の前に置くと起こる不備な点を指摘し、理由を述べよ。
 - •
 - •
 - •

理由:

- 4. SVG リスト 7.6 でエラーが起きないことを確認する。
- 5. (必須)「直線を引く」を実行し、ソースコードと DOM ツリーに変化があるかを確認する。
- 6. 配布資料 155ページ図 7.14 にあるように、塗りの色が異なる小さな正方形をいくつか置き、 それらのうち最後にクリックした色で直線が引けるようにする。
- 7. (必須) 長方形をドラッグして描くものを作成する。

課題 2 (初期化で要素を作成と自前のアニメーション) 演習のビデオ 2 を見て次の問いに答えよ。 イベント処理関数の設定は window.onload 内で行うこと。

- 1. (必須) 初期化時にサイクロイドの図形を描く。
- 2. (**必須**) 正多角形を初期化時に頂点の位置を計算して描く。描いた結果を DOM ツリーで確認 する。
- 3. (必須) サイクロイドをアニメーションで描く。
- 4. (必須)1年次の Processing の演習で行った課題を JavaScript のアニメーションに移植する。

課題 3 (JavaScript の配列とオブジェクトリテラル) 演習のビデオ 3 をの前半部「JavaScript の配列とオブジェクトリテラル」を見て次の問いに答えよ。

- 1. (必須)JavaScript の配列の操作についてコンソールで確認をしている。確認のための題材は ビデオ内のものとは違うものにすること。
- 2. (必須)JavaScript のオブジェクトリテラルの操作についてコンソールで確認をしている。確認のための題材はビデオ内のものとは違うものにすること。

課題 4 (ドラッグ処理) 演習のビデオ 3 の後半部「要素を作成する関数群処理」を見て次の問いに答えよ。

- 1. (必須)「ドラッグして直線を引く」を関数群を使って書き直しする。以前のものとのコードの比較し、考察をつけること。
- 2. (**必須**)「乱数を使用して円をいくつか描く」に色を追加して正しく動かしなさい。また、配列に色の追加をするだけでプログラムが正しく実行できる理由をここに記述しなさい。
- 3. (形の異なる)3 角形をランダムに表示するものを作成する。図形の種類が増えていればなおよい。

情報メディア専門ユニットI(演習)

第4回(5/16)ノートの内容

今回から JavaScript によるプログラミングが始まる。細かい文法の説明を特にはしないので今までのプログラミング言語と比較して違いに気を付けること。 項目の最後の文字は次に示す項目の評価である。 \mathbf{y} (プログラム等のリスト)、説 (プログラム説明が手書きまたは印刷である)、 \mathbf{Z} (結果のキャプチャ画面)、 \mathbf{z} (考察が手書きまたは印刷である) を意味し、次の記号で評価を示す。 \mathbf{z} × (不備またはない)、 \mathbf{z} (もう一息)、 \mathbf{z} (良い)、 \mathbf{z} (大変良い)

評価 項目	優れている	標準的	改良の余地あり
課題 1 (20%)	□使用中のブラウザと「開発者ツール」の開き方 図 考 □SVG ファイルに対して要素の属性を直接変えた結果に前後の図に開発者ツールの「Elements」タブが表示 リ説 図 考 □開発者ツールのコンソールで直接、簡単な算術式やdocument。getElementsByTagNameを実行 リ説 図 考	□使用中のブラウザと「開発者ツール」の開き方の図または考察がない 図 考 □SVGファイルに対して要素の属性を直接変えた結果に前後の図に開発者ツールの「Elements」タブがない リ説 図 考 □開 発 者 ツール の コンソールで簡単な算術式やdocument。getElementsByTagNameを実行が一部ない リ説図 考	□使用中のブラウザと「開発者ツール」の開き方の図と考察がないか不十分 図 考 □SVG ファイルに対して要素の属性を直接変えた結果に前後の図のいずれかがないか開発者ツールの「Elements」タブがなく不十分リ説 図 考 □開発者ツールのコンソールで簡単な算術式やdocument。getElementsByTagNameを実行がないリ説 図 考
課題 2 (30%)	□window.onload 内でし、ベクリックを登りついる。 リックの属性を表 リックの属性を表 リックの属性を表 リックの属性を表 リックののでし、ぶる。 リックののでし、ぶる。 リックののでし、ぶる。 ロいなのでででである。 ロいるのででででである。 ロいるのでででででである。 ロいるのでででででである。 ロいるのででででででである。 ロいるののでででででででででである。 ロいてのでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	window.onload 内でイベントの記録を登時に性図を登時に性図を時に性図を時に性図を時に性図を時に性図を考している。 リ 種を力しての表考 では他をしての表別 り が のののには他をです。	□window.onload 内でしての表す。 □window.onload 内でしての表す。 「ベいを明り少れの理りリ外。 の種類リックの属別ののでしての表す。 □には、のでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のので

評価項目	優れている	標準的	改良の余地あり
課題 3 (25%)	□(必須) 性が none に正し関リ図考にも考 た素動。にいる。 類 ののがり にきる かっと でののがり にきる かっと でののがり と考図 し要移るめて クリー でのがり そでのあいり でのがり にきる かんりしたがったい でののがり でのから がり にきる からがり でのがり でのがり でのがり でのがり でのがり でのがり でのがり での	□(必須) 相対 が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	□(必須) ## 「
課題 4 (25%)	□(必須) ビデオ内の「マウスのドラッグを処理」がある点の指摘が正しい。図 考 □(必須) ビデオ内の「改集情値ではなる人のドラッグを処理 (必須) ビデオ内の「改成がので前間と DOM ツリなって前間と DOM ツリなっている。リ 前間の下のである。リ 一次のがのでである。 リ 一次のでである。 リ 一次のででは、	□(必須) ビデオ内の「マウスのドラッグを処理」がある。図 考 □(必須) ビデオ内の「の動作の気にない。図 考 □(必須) ビデオ内の「改成の指摘のよりない。図がするになるリッグを処理(必須)で前間認と DOM ツリで表にの確認認が一分に表しているが、のがある。のでは、のがある。のでは、のが、のでは、のが、のでは、のが、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは	□(必須) ビデオ内の「マウスのドラッグを処理」のが見り、のがラックを点の指摘が足りない。図考 □(必須) ビデオ内の「マウスの気になる点のできない。図のできない。で前間認とのMツリンでがののできない。のできない。のできない。のできない。のがするができない。のからない。のができないではいいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、い

情報メディア専門ユニットI(演習) 第5回(5/23) プレゼンテーション

この回の予習に基づいてグループ内で議論したことや工夫した点について報告する。

グループメンバー学籍番号

評価	優れている	標準的	改良の余地あり
項目 発表 技法 (20%)	□はっきりと丁寧に説明していた。□発表の際に聴衆の反応を確かめていた。□間の取り方がよかった。	□説明が途切れることが 2, 3 か所あった。 □声が少し大きすぎたり小さすぎた。 □発表の際に聴衆の方をあまり見ていないか反応を確かめていなかった。 □決められた発表時間を少し外れた。 □機材の設定や準備に少し時間がかかった。	□声が小さすぎて聞き取れなかった。 □聴衆のほうを全く見ない、反応を無視して行った。 □間がない発表であった。 □発表時間が極端に短い、または長すぎた。 □手元の資料やPC画面を見て発表していた。 □機材の取り扱いや発表の準備がほとんどできていなかった。
発表 構成 (30%)	□初めに発表内容に関する概要があった。 □発表内容の順序に必然性があった □各構成の部分のバランスが良かった。 □図や表を使い簡潔にまとめられていた。 □引用は適切である。	□文字だけの発表で、概略が少しつかみづらかった。 □図の内容が少し見づらかった。 □項目の内容の分量にばらつきが少しあった。 □スライドごとに情報の詳しさが一部異なりすぎていた。 □ページの分量が発表時間に対して少し足りない、または多すぎた。	□ほとんどのスライドで情報 量が少なかった。 □一つのスライドに文字を詰めすぎていた。 □図が大きすぎたまたは小さすぎた。 □スライドごとに情報の詳しさが異なりすぎていた。 □スライドの内容が情報ごとにまとまっていなかった。
発表 内容 (50%)	□内容は適切であった。 □図の使い方がよかった。 □SVGファイルのデモが適切であった。 □内容が自分の言葉で述べられていた。 □それぞれの項目の関連性とバランスがよかった。 □発表したいことが十分に説明されていた。 □自分の意見が明確であった。	□内容のごく一部に説明不足なところがあった。 □図が少なくて説明が少しわかりずらかった。 □SVGファイルのデモの内容が少し足りなかった。 □内容に関して他からの引用が少し多かった。 □それぞれの項目の関連性に少し不十分なところがあった。 □発表内容の必要性の説明が少し足りなかった。	□内容が少なすぎる。 □図を使用していないのでわかりずらい。 □SVGファイルのデモの全くなかったか足りなかった。 □スライドの記述と発言内容に差がありすぎる。 □内容が多すぎて散漫である。 □内容が引用ばかりで自分でまとめた形跡がなかった。 □内容の説明が不十分であった。